

令和8年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2	学年	3年	類型	ビジネスコース
教科書	All Aboard English Communication Ⅱ (東京書籍)			副教材	All Aboard English Communication Ⅱ WORKBOOK (東京書籍)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1 学期	4						学習のねらい
		Lesson 6 Seeds for Future Generations	伝統野菜を未来へつなぐ	◎	○		説明文やメールの文章、エッセイなどを読み、書かれている情報や考えについて理解を深めます。また、文法知識として、1学期は動詞の目的語となるif節、関係副詞について、2学期は、知覚動詞と使役動詞について、3学期には、基本的な分詞構文について学習します。
			気になることについて伝える		◎	○	
	5		地元の特産物	○		◎	
			中間考査	◎	◎		
		Lesson 7 Over the Wall	アートが世界をつなぐ	◎	○		
	6		子どものころから好きなこと		○	◎	
			何かを失敗したときどうするか		◎	○	
			海外でやってみたいこと	○		◎	
		Communication 2 入国審査	入国審査時の会話	◎	○		
	7		期末考査	◎	◎		学習の目標
		1学期のまとめ	動詞の目的語になるif節	◎	○		英語コミュニケーションⅠにおける指導内容を踏まえて、幅広い話題について聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
			関係副詞	◎	○		
2 学期	9	Lesson 8 Inspiration from Nature	自然のデザインに学ぶ	◎	◎		
			動物や昆虫の行動		◎	○	
			植物のしくみ	◎	○		
	10		知覚動詞	◎	○		評価の観点
			自然をヒントに開発された製品	◎	◎		知識・技能
		Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	許可を求める表現	◎	○		外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。
			チョコレートをめぐる現実		◎	○	
			チョコレートの原料	◎	○		
	11		児童労働の現状	◎		○	
			品物の値段の決め方		◎	○	
			自分の意見を発表する		○	◎	思考・判断・表現
			使役動詞	◎	○		外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
	12	Extra Target 2	仮定法	◎	◎		
		Lesson 10 Fighting Angel	文に情報を加える	◎	○		
			看護師の仕事		○	◎	
3 学期	1						主体的に学習に取り組む態度
			表やグラフの英語	◎	○		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。
			やりがいのある仕事について		○	◎	
			学年末考査	◎	◎		
	2		家庭学習				
			〃				備考
			〃				
			〃				
	3						

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【英語上達のコツ—こつこつがんばろう】

- 英語は日本語と同じように言葉です。「英語を分かるようになろう」という強い気持ちを持ってください。
- コ英 I で学習した内容を土台として、新たな知識を上乗せしていきます。
- 本文、新出語彙は範読をよく聞き、何度も自分で実際に声に出して読むことを心がけてください。
- 英語を英語のまま理解することを心がけましょう。英語の構文が自然と理解できます。
- 読解に必要な語彙を習得する必要があります。分からない単語の意味等確実に覚えると長文も楽に読むことができます。
- 基本的な文法事項は確実に覚えてください。英文を読む上では必ず必要になります。
- 勉強した内容を実際に声に出してみましょう。コミュニケーションする上で発話は必要不可欠です。
- テレビやラジオの英語番組、インターネット、字幕で映画を見ることなどで楽しく英語を学べます。毎日できるだけたくさんの英語を聞きましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 各レッスンの授業の進め方は、だいたい次のようになります。
 - ①新出単語・熟語の意味や発音を確認します。
 - ②本文の内容を確認します。
 - ③本文の音読をします。
 - ④重要構文、文法事項を学習します。
 - ⑤練習問題、ワークを解きます。
- 前時に指示された課題を確実にを行い、必ず予習をして授業に臨んで下さい。
- ノートをきちんととり、学習内容を明確に把握することで、学習内容の定着を図るとともに定期考査前の再確認につながります。
- 毎時授業に出席をするのはもちろん、真剣に学習に取り組み、積極的な発声、挙手など意欲的な姿勢で授業に臨んで下さい。

【家庭学習】

- その日のうちに宿題を済ませ、授業の復習をしておく、記憶が長持ちします。
- 英語は予習の教科と言われています。次回学習するLessonの分からない単語を調べ、和訳を必ずしておきましょう。
授業で復習するつもりでしっかり予習しておく、授業内容がよく理解できます。
- 課題テスト実施前はテスト対策の学習を必ずして下さい。
- 復習として、授業で学習した範囲の音読をすると耳からも学習できます。

【定期考査】

- 授業で学習した内容の復習が基本になります。
- 本文の内容把握、重要構文、文法事項、新出語彙などを再確認しましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価します。出席状況、授業態度、ノートの整理状況、課題の提出状況、課題テスト、小テスト、定期考査をもとに総合的に評価します。	
評価の基準	1 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(③の観点から評価します。)
	2 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(③の観点から評価します。)
	3 学 期	学年末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況(主に③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均